

Suzumi Noda

Exhibition

From
2024

2/1^木
to
25^日

13:00-19:00

水・木休廊 ※2/1は開廊

Gallery P A R C
GRAND MARBLE

《袷袋》

2023

葉バック、PVC糸、漆糸／ニットイング、かぎ針編み
w20×110cm



『供養』

私は、消耗品、ラベル、不要品など身近で手に入れやすい素材を使う。

街に住み、現代を生きる私にとってそれは合理的で自然なことだ。日常のありふれたものから、人は何を失い、何を欲しているのか、大切なことは何かが見えてくる。かつて西陣織に欠かせなかった紋紙は、デジタルデータへと移行し、金銀平箔は、分業の職人技から無駄のない工程のプロダクト製品へと変わり、物質性の低い情報社会となりつつある。また、大量の薬のパッケージは脅迫的健康長寿社会を象徴しているかのようだ。

編み技法は、穴で構成されているので柔軟性に富み、解いて再使用できるので、モノを増やしたくない私にとって好都合の技法と言える。しかし、出来上がったモノはいずれゴミと化すなら恐ろしいディレンマを含んでいる。

つくることをやめられない私は、せめて先人を敬い供養する慎みを忘れずにいたい。

一本の糸から穴をつくり続けていく単調な行為は、私にとって現生の欲や呪縛から逃れ、自由に浮遊するための時間だ。

どんな時にも穴をつくれれば風通しが良くなり、柔らかで澄んだ思考と精神が得られる。また、穴をつくることは、付け入る隙を与えるということであり、それはちょっとした綻びのような魅力がある。

野田涼美

Gallery PARC[グランマーブルギャラリー・パルク]では、2024年2月1日[木]から2月25日まで、野田涼美による個展「供養」を開催いたします。

野田 涼美(のだ すずみ)は、1980年代より現在まで、おもにデザインやアートの領域での制作・発表活動が続けるアーティストであり、2006年より川島テキスタイルスクールのディレクター(現在はアドバイザー)、2012年より京都造形芸術大学特任教授(17年まで)、2017年より京都市立芸術大学特任教授(~22年まで)を務めるなど、後進の指導においても大きな役割を担ってきました。

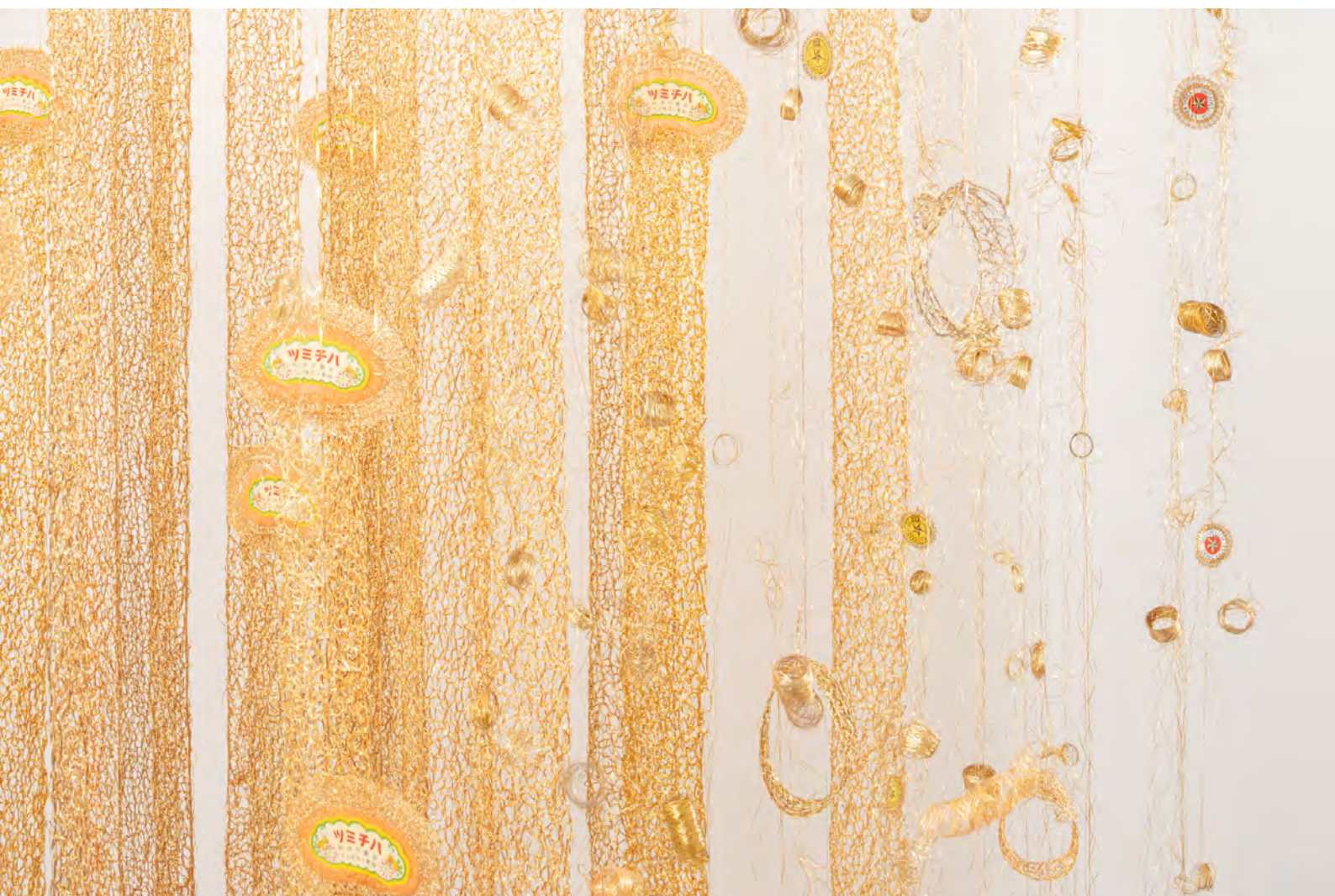
本展は「供養」をテーマに、現在まで国内外において精力的に活動続ける野田涼美の新作・近作およそ20点あまりにより、現在の野田の仕事やその眼差しの先を窺い知る機会となるものです。

なお、野田は同時期にギャラリー・パルクと同会場にあるNEUTRAL『Contemporary Textile Art MINIATURE WORKS -THE KYOTO- vol.3』(2月3日まで)や、京都国立近代美術館で開催されている『小林正和とその時代—ファイバーアート、その向こうへ』(3月10日まで)にも作品を出品しております。こちらもあわせてご覧いただければ幸いです。

《アスクレピオスの杖》

2023

薬パック、PVC糸、木/ニッティング、かぎ針編み、マクラメ編み
w20×d30×h154 cm



《ミツバチ》

2023
ラベル、平箔、PVC糸/ニットイング、かぎ針編み
w180×d90×h300cm

出展作家 野田 涼美
Suzumi Noda

展覧会名 供養
Suzumi Noda Exhibition

会 期 2024年2月1日[木]—2月25日[日] 13時から19時まで
水・木休廊 入場無料

会場・主催 ギャラリー・パルク
Gallery PARC

602-8242 京都府京都市上京区皂莢町287 堀川新文化ビルディング 2階
075-334-5085 / info@galleryparc.com / www.galleryparc.com

アクセス ○地下鉄烏丸線「丸太町」・「今出川」駅より徒歩約20分 ○地下鉄東西線「二条城前」駅より徒歩約18分 ○京都市バス9番・50番(JR京都駅から約22分)・12番(阪急烏丸駅から約15分)・67番(阪急大宮駅から約12分)系統「堀川中立売」バス停下車徒歩1分 ○駐輪場・駐車場 有 ※満車の場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。

野田 凉美
Suzumi Noda

主な職位

2006-2017 川島テキスタイルスクール ディレクター
2017-現在 川島テキスタイルスクール アドバイザー
2012-2017 京都造形芸術大学 特任教授
2017-2022 京都市立芸術大学 特任教授

主な個展

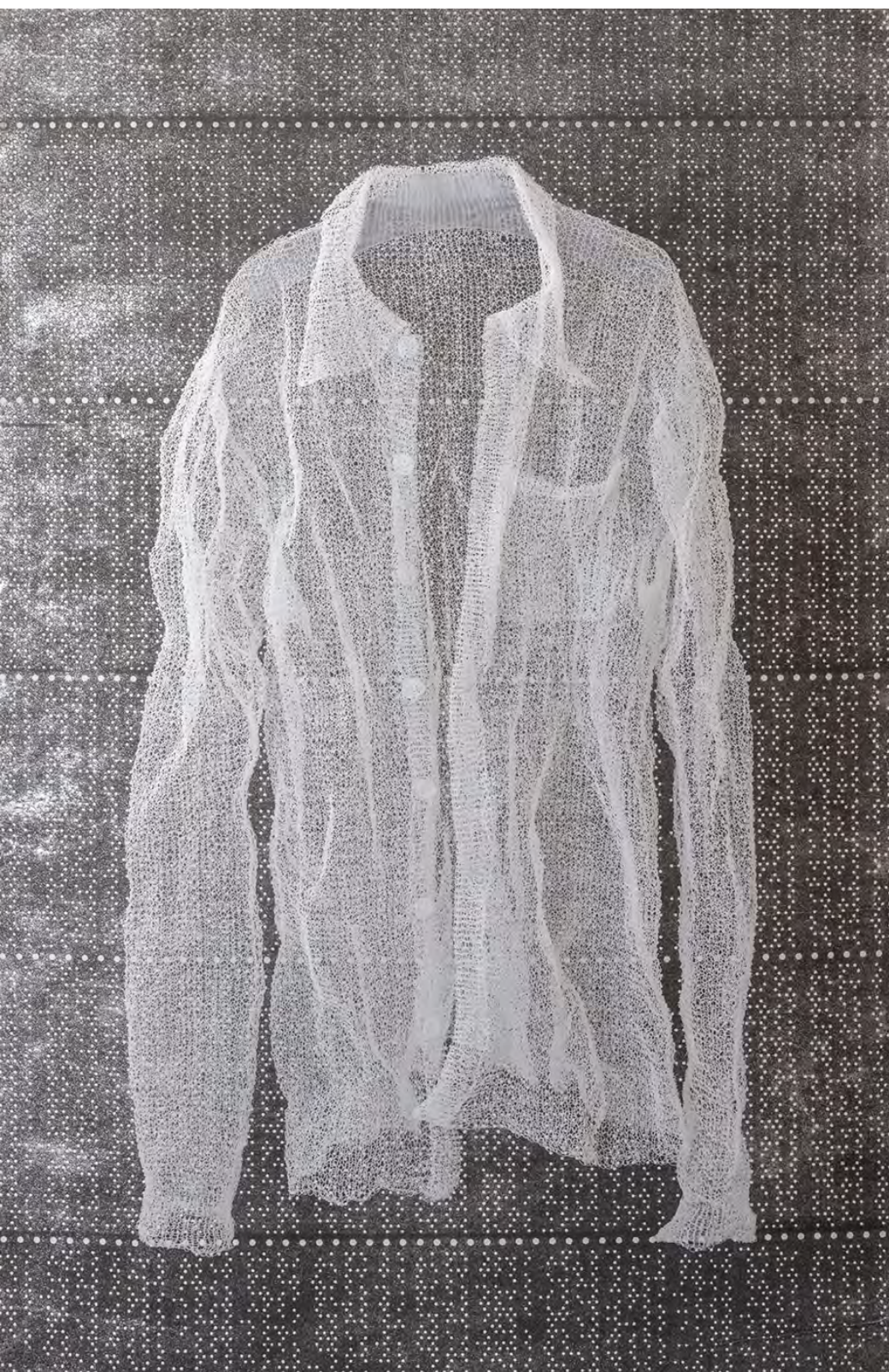
1989-2022 ギャラリーギャラリー 京都(20回)
1986-2019 ギャラリーマロニエ 京都(9回)
2015 Fiberspace ストックホルム,スウェーデン
2012 Ilaria Nistri Showroom & DAAD Dantone
ミラノ,イタリア

主なグループ展

2024 小林正和とその時代(京都国立近代美術館)
2020-2021 Fabric : Touch & Identity(コンプトン
バーニーギャラリー,イギリス)
2019 第3回ファイバーアートトリエンナーレ(浙江美
術館,中国)
2019 日本とリトアニアの現代テキスタイル展(国立
MKチュルリョニス美術館,リトアニア)
2015-2016 Kawaii展(UCAギャラリー,イギリス)
*2016年にはラグビー美術館へ巡回
2011-2012 Lost In Lace展(バーミンガム美術館,イギ
リス)
2010 第13回国際タペストリートリエンナーレ(ウジ
テキスタイル美術館,ポーランド)
2010-2011 織る 編む ひろがる テキスタイルの形と色
(岡山県立美術館)
2006-2007 (Ex)changing Tradition日豪交流展
(2007) Southern Project Studio(メルビル,オーストラリア)
(2006)京都芸術センター
2006 ミラノサローネサテリテ(ミラノ,イタリア)
2005 カウナスアートビエンナーレ"テキスタイル 05"
(リトアニア)
2005 第5回国際タペストリー&テキスタイルアートの
トリエンナーレ(ベルギー)
2004 ミニアテキスタイル(コモ,イタリア)
2003 日本ブルガリア交流展(国立美術館,ブルガリア)
2002 構成された布切れ展 神戸ファッション美術館
2001 Contemporary Lace Exhibition(クラフトウェ
ストギャラリー,オーストラリア)
1999 キリンコンテンポラリーアワードOB5人展(キ
ンプラザ大阪)
1997 国際テキスタイルコンペティション(京都文化博
物館)<芸術賞受賞>
1996 キリンコンテンポラリーアワードフェスティバル
(キンプラザ大阪)
1990 キリンコンテンポラリーアワード(キンプラザ
大阪)

アーティストインレジデンス

2006 カーティン大学(オーストラリア)
2001 メルビル市(オーストラリア)



《シャツ》

2023
プラスチック糸/ニットイング
w60×100cm